

---

# 転入者、転出者及び子育て世帯アンケート

---

(令和3年度実施)



令和4年9月

東大和市企画財政部企画政策課

## -目次-

<b>1 転入者アンケート調査結果</b>	P 1
・転出元自治体について	P 2
・問1-1 転入後の世帯構成	P 2
・問1-2 世帯主（転入後の世帯）の年齢	P 3
・問2 転入のきっかけとなった理由（第1理由）、（第2理由）	P 3
・【参考・クロス集計】問1-2×問2 年齢別の転入のきっかけ（第1理由）	P 4
・問3-1 住所を決めるにあたり、東大和市以外の地域を探したか	P 8
・問3-2 東大和市以外で探した地域	P 8
・問4 東大和市に居住地を決めた理由	P 9
・問5-1 転入を決めるにあたり、東大和市の行政サービスや施策を調べたか	P 9
・問5-2 転入以前から東大和市のことを知っていたか	P 10
・問5-3 どのようなことを通して東大和市のことを知ったか	P 10
・問5-4 東大和市についてどんなことを知っていたか	P 11
<b>2 転出者アンケート調査結果</b>	P 12
・転出先自治体について	P 13
・問1-1 転出後の世帯構成について	P 13
・問1-2 世帯主（転出後の世帯主）の年齢	P 14
・問2 転出のきっかけとなった理由（第1理由）、（第2理由）	P 14
・問3 転出先の市区町村を選んだ理由	P 15
・問4-1 帰還意向について	P 15
・問4-2 東大和市に住んでいて良かった点	P 16
・問4-3 東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点	P 17
・問5 東大和市の中で自慢できる、あるいは良いと思うことやもの	P 17
<b>3 子育て世帯アンケート調査結果</b>	P 18
・問1-1 回答者の年齢	P 19
・問1-2 世帯構成	P 19
・問1-3 希望出生数	P 20
・問1-4 子どもの年代及び人数	P 20
・問2-1 居住している地区	P 20
・問2-2 東大和市に住み始めた時期	P 21
・問2-3 東大和市に居住地を決めた理由	P 21
・問2-4 住宅の所有関係について	P 22
・問3-1 定住意向について	P 22
・【参考・クロス集計】【住宅の所有関係について】×【定住意向について】	P 22
・問3-2 東大和市に住んでいて良かった点	P 23
・問3-3 東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点	P 24
・【参考・クロス集計】【市外に転居したい】【なるべくなら市外転居したい】 ×【住みにくい点】	P 24
・問4 出産し、より良い子育てをするために、市に期待すること	P 25
・問5 東大和市の魅力（自由回答）	P 26
<b>4 資料編：アンケート用紙</b>	P 27
・転入者アンケート	P 28
・転出者アンケート	P 29
・子育て世帯アンケート	P 30

# 1 転入者アンケート調査結果

## 1 転入者アンケート調査結果

### アンケートの概要

調査期間： 令和3年6月1日（火）～令和3年9月1日（水）

調査対象： 調査期間中に市民課窓口にて転入届を提出された方

有効回答数： 310件（信頼度90%※以上）

※ 令和3年中の転入者総数3,452人に対する信頼度90%となるサンプル数は、252件である。

### 転出元自治体について（上位10自治体）（n=310）

順位	自治体名	件数	%
1	立川市	19	6.1
1	武蔵村山市	19	6.1
3	東村山市	17	5.5
4	小平市	14	4.5
5	日野市	12	3.9
6	昭島市	9	2.9
6	所沢市	9	2.9
8	青梅市	7	2.3
9	練馬区	5	1.6
9	横浜市	5	1.6
-	その他(他自治体)	169	54.5
-	無回答	25	8.1
	合 計	310	100.0

転出元の自治体は、当市と隣接している自治体が上位を占めている。

### 問1-1 転入後の世帯構成（n=310）

	件数	%
ひとり暮らし	129	41.6
夫婦のみ	74	23.9
自分(夫婦)と子の二世帯	39	12.6
自分(夫婦)と親の二世帯	16	5.2
親と自分(夫婦)と子の三世帯	3	1.0
その他	43	13.9
無回答	6	1.9
合 計	310	100.0

転入後の世帯構成は、「ひとり暮らし」が全体の約42%と最も多い。また、「自分(夫婦)と子の二世帯」は、全体の約13%となっている。

問1-2 世帯主（転入後の世帯）の年齢（n=310）

年齢	件数	%
19歳以下	4	1.3
20～24歳	44	14.2
25～29歳	82	26.5
30～34歳	42	13.5
35～39歳	34	11.0
40～44歳	14	4.5
45～49歳	14	4.5
50～59歳	37	11.9
60～69歳	12	3.9
70歳以上	19	6.1
無回答	8	2.6
合計	310	100.0

世帯主（転入後の世帯）の年齢は、20歳代が126人で最も多く全体の約40%を占める。次に30歳代が76人となり、全体の約25%を占め、20～30歳代で全体の約65%となることから若い世代の転入が多いことが分かる。

問2 転入のきっかけとなった理由（第1理由）（n=310）

	件数	%
職業上の理由	98	31.6
結婚等	66	21.3
住宅の購入等	52	16.8
生活の利便性	46	14.8
親・子との同居・近居	15	4.8
子育て環境上の理由	5	1.6
その他	20	6.5
無回答	8	2.6
合計	310	100.0

転入のきっかけとなった理由（第1理由）は、「職業上の理由」が最も多く、次に、「結婚等」や「住宅の購入等」を理由とする転入が多い。

転入のきっかけとなった理由（第2理由）（n=310）

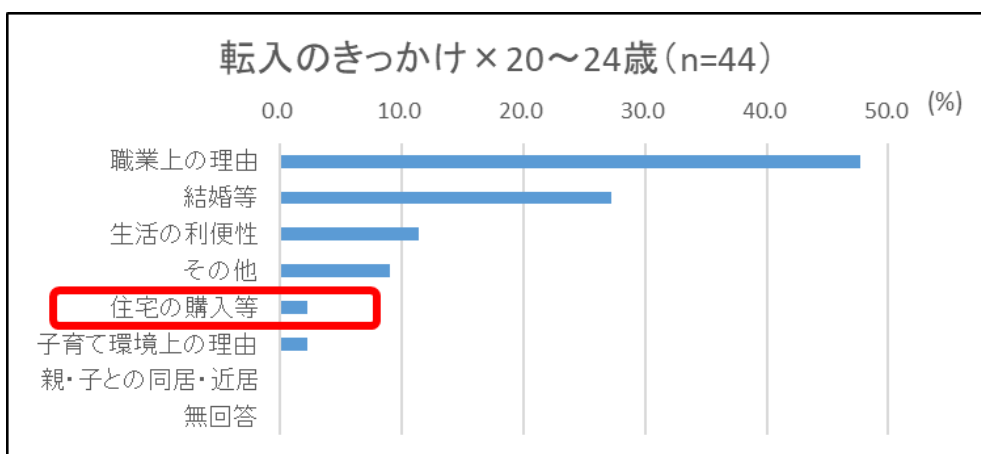
	件数	%
生活の利便性	46	14.8
職業上の理由	36	11.6
親・子との同居・近居	15	4.8
結婚等	10	3.2
住宅の購入等	7	2.3
子育て環境上の理由	5	1.6
その他	13	4.2
無回答	178	57.4
合計	310	100.0

【参考・クロス集計】問1-2×問2 年齢別の転入のきっかけ（第1理由）

転入が多い年齢層である、(1) 20～24歳、(2) 25～29歳、(3) 30～34歳、(4) 35～40歳、(5) 50～59歳の転入のきっかけについては、以下のとおりである。

(1) 20～24歳 (n=44)

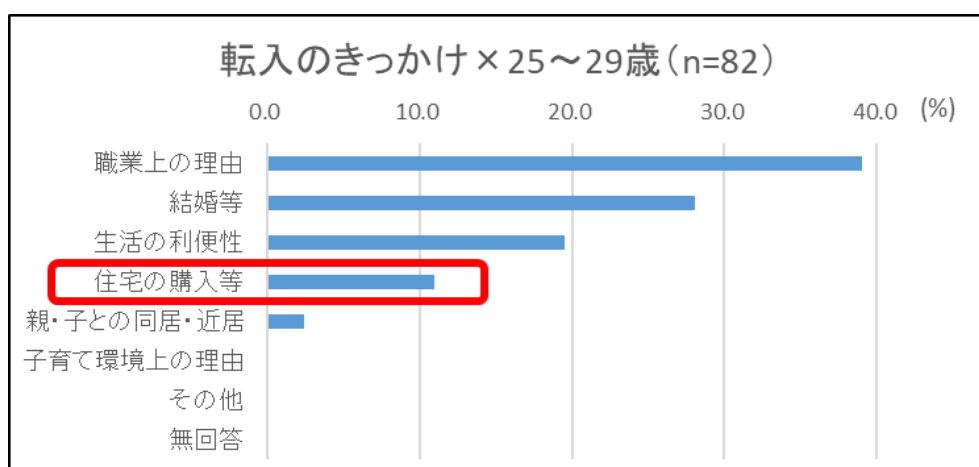
	件数	%
職業上の理由	21	47.7
結婚等	12	27.3
生活の利便性	5	11.4
その他	4	9.1
住宅の購入等	1	2.3
子育て環境上の理由	1	2.3
親・子との同居・近居	0	0.0
無回答	0	0.0
合 計	44	100.0



20～24歳は、「職業上の理由」が最も多く、次に「結婚等」が多い。また、「住宅の購入等」を理由として転入することが少ないことが分かる。

(2) 25～29歳 (n=82)

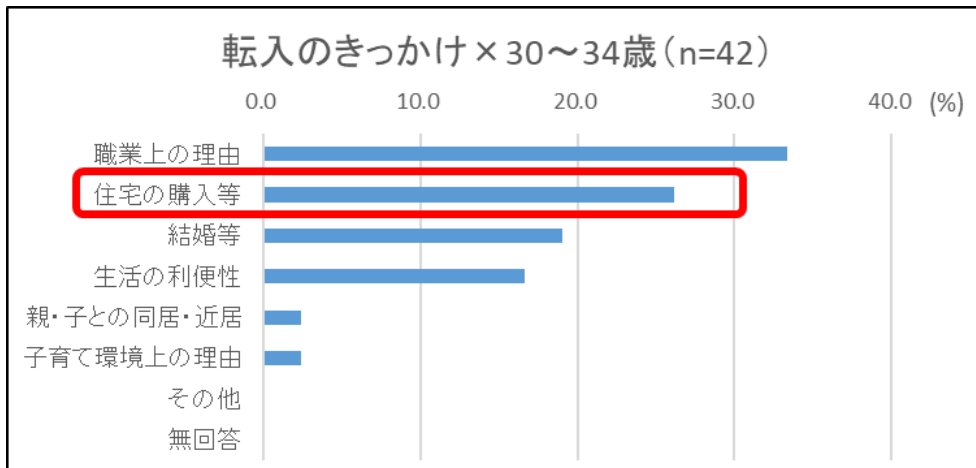
	件数	%
職業上の理由	32	39.0
結婚等	23	28.0
生活の利便性	16	19.5
住宅の購入等	9	11.0
親・子との同居・近居	2	2.4
子育て環境上の理由	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合 計	82	100.0



最も転入が多い年齢層である25～29歳においても、「職業上の理由」が最多である。20～24歳と比較し、「住宅の購入等」を理由に転入してきた人が多いことが分かる。

(3) 30～34歳 (n=42)

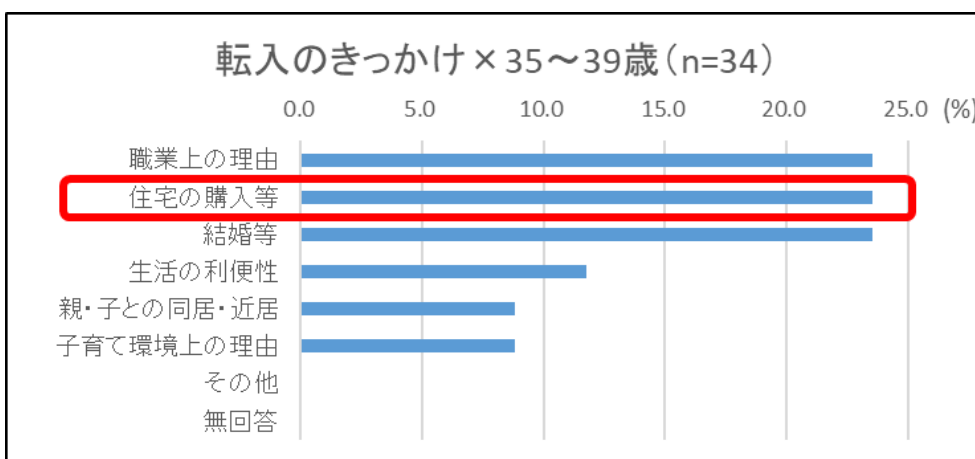
	件数	%
職業上の理由	14	33.3
住宅の購入等	11	26.2
結婚等	8	19.0
生活の利便性	7	16.7
親・子との同居・近居	1	2.4
子育て環境上の理由	1	2.4
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合 計	42	100.0



30～34歳においても、「職業上の理由」が最多であるが、20歳代と比較して、「住宅の購入等」を理由として転入してきた人が多いことが分かる。

(4) 35～39歳 (n=34)

	件数	%
職業上の理由	8	23.5
住宅の購入等	8	23.5
結婚等	8	23.5
生活の利便性	4	11.8
親・子との同居・近居	3	8.8
子育て環境上の理由	3	8.8
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

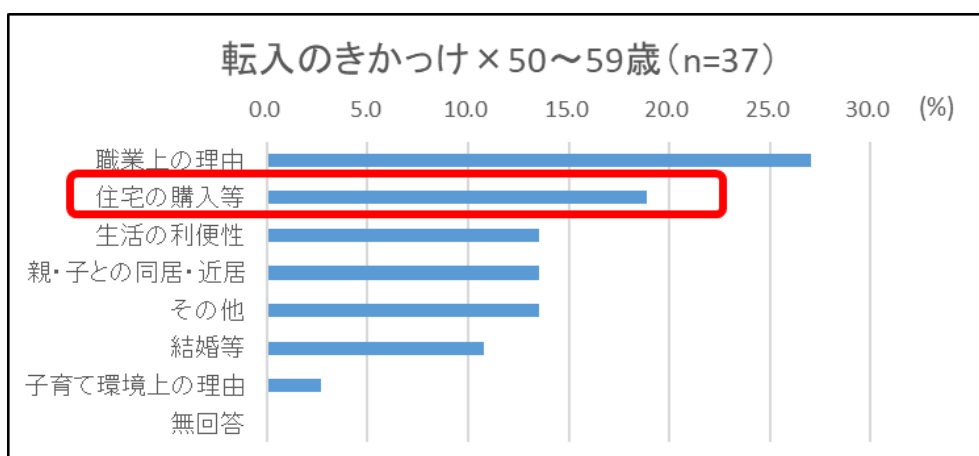


35～39歳では、「職業上の理由」、「住宅の購入等」及び「結婚等」が、同率で最多となっている。



(5) 50～59歳 (n=37)

	件数	%
職業上の理由	10	27.0
住宅の購入等	7	18.9
生活の利便性	5	13.5
親・子との同居・近居	5	13.5
その他	5	13.5
結婚等	4	10.8
子育て環境上の理由	1	2.7
無回答	0	0.0
合 計	37	100.0



50～59歳においても、「職業上の理由」が最多であり、次に、「住宅の購入等」が多い。20～30歳代と異なり、「親・子との同居・近居」を理由として転入してきた人が多い。

問3-1 住所を決めるにあたり、東大和市以外の地域を探したか（n=310）

	件数	%
探した	158	51.0
探さない	139	44.8
無回答	13	4.2
合計	310	100.0

問3-2 （問3-1で「探した」と答えた方に対し）、東大和市以外で探した地域（3つまで選択）（n=158）

自治体名	件数	%
立川市	96	60.8
小平市	63	39.9
東村山市	54	34.2
武蔵村山市	32	20.3
国分寺市	29	18.4
昭島市	27	17.1
八王子市	24	15.2
国立市	17	10.8
西東京市	13	8.2
所沢市	2	1.3
その他	15	9.5
無回答	1	0.6
合計	373	

東大和市以外で探した地域については、「立川市」を探した人が最も多い。また、隣接自治体と比較・検討した上で、当市に転入していることが分かる。

問4 東大和市に居住地を決めた理由（3つ選択）（n＝310）

	件数	%
住宅価格・家賃	143	46.1
通勤・通学の利便性	127	41.0
買い物など日常生活の利便性	57	18.4
立川方面への利便性	52	16.8
自然環境	41	13.2
親や子供世帯と同居・近居	39	12.6
良好な住環境	37	11.9
職場があるところ	27	8.7
配偶者等の住居があったから	26	8.4
新宿方面への利便性	24	7.7
生まれ育ったところ	22	7.1
以前住んでいたところ	15	4.8
治安	12	3.9
自然災害が少ない	12	3.9
テレワークの職・住のバランス	11	3.5
市内公共交通の利便性	8	2.6
子育て環境	8	2.6
地域、路線などのイメージ	6	1.9
小・中学校などの教育環境	4	1.3
その他	21	6.8
無回答	5	1.6
合計	697	

東大和市に居住地を決めた理由は、「住宅価格・家賃」が最も多く、次に「通勤・通学の利便性」が多い。

問5-1 転入を決めるにあたり、東大和市の行政サービスや施策を調べたか（n＝310）

	件数	%
調べた	47	15.2
調べていない	262	84.5
無回答	1	0.3
合計	310	100.0

転入を決めるにあたり、東大和市の行政サービスや施策を調べたかについては、「調べた」が約15%であるのに対し、「調べていない」が約85%と多い。

問5-2 転入以前から東大和市のことを知っていたか（n=310）

	件数	%
知っていた	208	67.1
知らなかった	99	31.9
無回答	3	1.0
合計	310	100.0

転入以前から東大和市のことを知っていたかについては、「知っていた」が約67%を占め、東大和市を知っていることで、転入先として選ぶ可能性が高いことが分かる。

問5-3 （問5-2で「知っていた」と答えた方に対し）、どのようなことを通して東大和市のことを知ったか（2つ選択）（n=208）

	件数	%
親族・友人を通じて知った	66	31.7
以前近隣に住んでいた	59	28.4
鉄道や道路で通った	49	23.6
以前、東大和市に住んでいた	42	20.2
職場が近隣にある	30	14.4
職場があるところ	19	9.1
市内イベント・散策	15	7.2
市のホームページで見た	7	3.4
市のホームページ以外のインターネットで見た	5	2.4
テレビ・新聞等で見聞きした	4	1.9
その他	16	7.7
無回答	5	2.4
合計	317	

東大和市を知るきっかけとしては、「親族・友人を通じて知った」が最も多く、次に「以前近隣に住んでいた」が多い。

問5-4 (問5-2で「知っていた」と答えた方に対し)、東大和市についてどんなことを知っていたか(3つまで選択) (n=208)

	件数	%
多摩湖	137	65.9
東大和市駅	136	65.4
狭山緑地	41	19.7
都立東大和南公園	28	13.5
多摩湖自転車歩行者道	21	10.1
プラネタリウム(メガスターⅡB)	15	7.2
うまべえ	12	5.8
旧日立航空機株式会社変電所	10	4.8
全部知っている	10	4.8
産業まつり	9	4.3
うまかんべえ～祭	5	2.4
多摩湖駅伝大会	2	1.0
吉岡堅二画伯	2	1.0
ブランドメッセージ	0	0.0
その他	8	3.8
無回答	72	34.6
合 計	508	

東大和市についてどんなことを知っていたかについては、「多摩湖」が最も多く、次に「東大和市駅」が多い。

## 2 転出者アンケート調査結果

## 2 転出者アンケート調査結果

### アンケートの概要

調査期間： 令和3年6月1日（火）～令和3年9月15日（水）

調査対象： 調査期間中に市民課窓口にて転出届を提出された方

有効回答数： 258件（信頼度90%※以上）

※ 令和3年中の転入者総数3,148人に対する信頼度90%となるサンプル数は、250件である。

### 転出先自治体について（上位10自治体）（n=258）

順位	自治体名	件数	%
1	立川市	19	7.4
1	武蔵村山市	19	7.4
3	東村山市	17	6.6
4	小平市	14	5.4
5	日野市	12	4.7
6	昭島市	9	3.5
7	青梅市	7	2.7
7	所沢市	7	2.7
9	中野区	5	1.9
9	練馬区	5	1.9
-	その他(他自治体)	126	48.8
-	無回答	18	7.0
	合 計	258	100.0

転出先の自治体は、当市と隣接している自治体が上位を占めている。

### 問1-1 転出後の世帯構成（n=258）

	件数	%
ひとり暮らし	121	46.9
夫婦のみ	51	19.8
自分(夫婦)と子の二世帯	31	12.0
自分(夫婦)と親の二世帯	15	5.8
親と自分(夫婦)と子の三世帯	4	1.6
その他	31	12.0
無回答	5	1.9
合 計	258	100.0

転出後の世帯構成は、「ひとり暮らし」が全体の約47%と最も多い。また、「自分（夫婦）と子の二世帯」は、全体の12%となっている。

問 1 - 2 世帯主（転出後の世帯主）の年齢（n = 258）

年齢	件数	%
19歳以下	2	0.8
20～24歳	42	16.3
25～29歳	56	21.7
30～34歳	37	14.3
35～39歳	31	12.0
40～44歳	15	5.8
45～49歳	19	7.4
50～59歳	36	14.0
60～69歳	9	3.5
70歳以上	8	3.1
無回答	3	1.2
合 計	258	100.0

世帯主（転出後の世帯主）の年齢は、20歳代が98人となり、全体の約38%を占める。次に30歳代が68人で、全体の約26%を占め、20～30歳代で全体の約64%となることから、若い世代の転出が多いことが分かる。

問 2 転出のきっかけとなった理由（第1理由）（n = 258）

	件数	%
職業上の理由	102	39.5
結婚等	55	21.3
住宅の購入等	36	14.0
生活の利便性	30	11.6
親・子との同居・近居	11	4.3
子育て環境上の理由	3	1.2
その他	18	7.0
無回答	3	1.2
合 計	258	100.0

転出のきっかけとなった理由は、転入者と同様に、「職業上の理由」が、最も多い。また、「結婚等」を通じ、転出することが多いことも分かる。

転出のきっかけとなった理由（第2理由）（n = 258）

	件数	%
生活の利便性	45	17.4
職業上の理由	19	7.4
結婚等	16	6.2
親・子との同居・近居	9	3.5
住宅の購入等	4	1.6
子育て環境上の理由	3	1.2
その他	1	0.4
無回答	161	62.4
合 計	258	100.0



問3 転出先の市区町村を選んだ理由（3つ選択）（n = 258）

	件数	%
通勤・通学の利便性	130	50.4
住宅価格・家賃	83	32.2
良好な住環境	56	21.7
都心へのアクセス	50	19.4
買い物など日常生活の利便性	42	16.3
親や子供世帯と同居・近居	31	12.0
職場があるところ	29	11.2
自然環境	22	8.5
配偶者等の住居があったから	20	7.8
以前住んでいたところ	19	7.4
市内公共交通の利便性	17	6.6
治安	14	5.4
地域、路線などのイメージ	7	2.7
自然災害が少ない	6	2.3
子育て環境	5	1.9
小・中学校などの教育環境	3	1.2
その他	17	6.6
無回答	3	1.2
合計	554	

転出先自治体を選んだ理由としては、「通勤・通学の利便性」が最も多い。次に「住宅価格・家賃」が多い。

問4-1 帰還意向について（n = 258）

	件数	%
どちらかといえば戻りたい	116	45.0
ぜひ戻りたい	61	23.6
どちらかといえば戻りたくない	47	18.2
戻りたくない	18	7.0
無回答	16	6.2
合計	258	100.0

帰還意向については、「ぜひ戻りたい」及び「どちらかといえば戻りたい」の合計は、約69%であった。

問4-2 東大和市に住んでいて良かった点（3つ選択）（n=258）

	件数	%
買い物など日常生活の利便性	102	39.5
立川方面への利便性	83	32.2
通勤・通学の利便性	79	30.6
生まれ育ったところ	68	26.4
自然環境	65	25.2
住宅価格・家賃	53	20.5
治安	47	18.2
新宿方面への利便性	35	13.6
良好な住環境	32	12.4
自然災害が少ない	25	9.7
親や子供世帯と同居・近居	23	8.9
子育て環境	15	5.8
地域コミュニティ	7	2.7
地域、路線などのイメージ	6	2.3
小・中学校などの教育環境	6	2.3
市内公共交通の利便性	6	2.3
テレワークの職・住バランス	0	0.0
その他	3	1.2
無回答	7	2.7
合計	662	

東大和市に住んでいて良かった点としては、「買い物など日常生活の利便性」が最も多い。次に「立川方面への利便性」、「通勤・通学の利便性」の順で多い。

問4—3 東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点（3つまで選択）（n=258）

	件数	%
都心へのアクセス	87	33.7
特になし	68	26.4
通勤・通学	52	20.2
買い物など日常生活	45	17.4
就業の場が少ない	37	14.3
市内公共交通	35	13.6
治安	20	7.8
住宅価格・家賃	20	7.8
地域、路線などのイメージ	18	7.0
生まれ育ったところではない	12	4.7
親や子供世帯の居住地が遠い	9	3.5
住環境	9	3.5
自然環境	7	2.7
地域コミュニティが活発でない	6	2.3
小・中学校などの教育環境	4	1.6
子育て環境	3	1.2
その他	6	2.3
無回答	13	5.0
合計	451	

東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点としては、「都心へのアクセス」が最も多い。次に「特になし」が多い。

問5 東大和市の中で自慢できる、あるいは良いと思うことやものを記入

【主なもの】

「自然豊かなところ」
・自然環境
・緑が多い、民度が高い。
・落ち着いていて住みやすい。緑がある。おいしいスイーツ店が多い。
・住みやすい。自然が多い。おだやか。等
「治安が良く、住みやすい」
・治安の良さ、買い物等の住環境、公園の充実さ
・治安が良い。子育てしやすい。住みやすい。等
※その他、交通・買い物の利便性、田舎であること、自然災害が少ないこと等の意見があった。

### 3 子育て世帯アンケート調査結果

### 3 子育て世帯アンケート調査結果

#### アンケートの概要

調査期間： 令和3年6月1日（火）～令和3年10月5日（火）

調査対象： 乳幼児健診のために保健センターに来庁した保護者

調査方法： ①紙媒体によるアンケート

②電子アンケート（東京電子自治体共同運営協議会が提供する電子申請サービスを活用）

有効回答数： 435件（信頼度95%※以上）

（うち、電子アンケートによる回答数は、19件）

※ 0歳から5歳までの子どもを育てている世帯総数3,906世帯（令和3年3月31日現在）に対する信頼度95%となるサンプル数は、350件である。

#### 問1-1 回答者の年齢（n=435）

年齢	件数	%
19歳以下	2	0.5
20～24歳	18	4.1
25～29歳	67	15.4
30～34歳	134	30.8
35～39歳	144	33.1
40～44歳	54	12.4
45～49歳	15	3.4
50～59歳	0	0.0
60～69歳	0	0.0
70歳以上	0	0.0
無回答	1	0.2
合計	435	100.0

30歳代が278人となり、全体の約64%を占める。次に20歳代が85人で、全体の約20%を占め、40歳代が69人で全体の約16%となり、幅広い世代が乳幼児の子育てをしていることが分かる。

#### 問1-2 世帯構成（n=435）

	件数	%
自分(夫婦)と子の二世帯	402	92.4
親と自分(夫婦)と子の三世帯	21	4.8
その他	11	2.5
無回答	1	0.2
合計	435	100.0

世帯構成については、「自分(夫婦)と子の二世帯」が全体の約92%を占めており、ほとんどの世帯が核家族世帯で子育てをしていることが分かる。

問1-3 希望出生数 (n=435)

	件数	%
1人	43	9.9
2人	210	48.3
3人	128	29.4
4人	14	3.2
5人以上	4	0.9
無回答	36	8.3
合計	435	100.0

希望出生数については、「2人」が最も多く、次に「3人」が多い。

問1-4 子どもの年代及び人数 (n=435)

	件数	%
就学前	639	78.2
小学生1~3年生	113	13.8
小学生4~6年生	30	3.7
中学生	17	2.1
高校生以上	8	1.0
無回答	10	1.2
合計	817	100.0

子どもの年代及び人数については、「就学前」が約78%と最も多い。

問2-1 居住している地区 (n=435)

	件数	%
桜が丘	94	21.6
芋窪	47	10.8
向原	41	9.4
中央	36	8.3
清水	31	7.1
奈良橋	30	6.9
南街	27	6.2
上北台	23	5.3
仲原	22	5.1
狭山	19	4.4
立野	18	4.1
新堀	17	3.9
高木	11	2.5
蔵敷	10	2.3
清原	5	1.1
湖畔	4	0.9
多摩湖	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	435	100.0

居住している地区については、「桜が丘」地区が最も多く、次に「芋窪」地区が多い。

問 2 - 2 東大和市に住み始めた時期（n = 435）

	件数	%
平成30年～令和2年	123	28.3
平成27年～29年	101	23.2
平成24年～26年	73	16.8
あなた自身が出生した時から居住	58	13.3
平成19年～23年	31	7.1
平成18年以前	26	6.0
令和3年以降	23	5.3
合 計	435	100.0

東大和市に住み始めた時期については、「平成30年～令和2年」が最も多く、次に「平成27年～29年」が多い。

問 2 - 3 東大和市に居住地を決めた理由（3つ選択）（n = 435）

	件数	%
住宅価格・家賃	159	36.6
父母世帯と同居・近居	142	32.6
通勤・通学の利便性	134	30.8
買い物など日常生活の利便性	93	21.4
生まれ育ったところ	79	18.2
配偶者等の住居があったから	78	17.9
立川方面への利便性	72	16.6
子育て環境	65	14.9
良好な住環境	63	14.5
自然環境	50	11.5
職場があるところ	41	9.4
以前住んでいたところ	24	5.5
自然災害が少ない	18	4.1
新宿方面への利便性	15	3.4
治安	10	2.3
市内公共交通の利便性	9	2.1
小・中学校などの教育環境	9	2.1
地域、路線などのイメージ	7	1.6
テレワークの職・住バランス	0	0.0
その他	36	8.3
無回答	2	0.5
合 計	1106	

東大和市に居住地を決めた理由としては、「住宅価格・家賃」が最も多く、次に「父母世帯と同居・近居」、「通勤・通学の利便性」の順で多い。

問2-4 住宅の所有関係について (n=435)

	件数	%
持家(一戸建)	221	50.8
民間の借家 (アパート・賃貸マンション等)	91	20.9
持家(分譲マンション)	40	9.2
給与住宅(社宅・官舎・寮等)	40	9.2
公営住宅 (公団・公社・都営住宅等)	30	6.9
民間の借家(一戸建)	7	1.6
その他	6	1.4
無回答	0	0.0
合計	435	100.0

住宅の所有関係について、「持家(一戸建て・分譲マンションの合計)」が60%であるのに対して、「民間の借家(一戸建・アパート・賃貸マンション等の合計)」は、約23%であった。

問3-1 定住意向について (n=435)

	件数	%
今の場所に住み続けたい	278	63.9
市内のどこかに住み続けたい	74	17.0
できれば市外に移りたい	68	15.6
今すぐにも市外に移りたい	6	1.4
無回答	9	2.1
合計	435	100.0

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」、「市内のどこかに住み続けたい」の合計が、約81%となった。

【参考・クロス集計】【住宅の所有関係について】×【定住意向について】

住宅の所有関係	定住意向					総計
	今の場所に 住み続けたい	市内のどこかに 住み続けたい	できれば市外に移 りたい	今すぐにも 市外に移りたい	無回答	
持家(一戸建)	186	5	24	2	4	221
持家(分譲マンション)	28	5	7			40
給与住宅(社宅・官舎・寮等)	15	14	9	1	1	40
公営住宅(公団・公社・都営住宅等)	13	11	5		1	30
民間の借家(アパート・賃貸マンション等)	28	36	23	3	1	91
民間の借家(一戸建)	3	3			1	7
その他	5				1	6
総計	278	74	68	6	9	435

持家(一戸建及び分譲マンション)の定住意向について、総数261人に対して「今の場所に住み続けたい」及び「市内のどこかに住み続けたい」と回答した人は計224人となり、約86%となった。

一方、民間の借家(一戸建・アパート・賃貸マンション等)の定住意向については、総数98人に対して「今の場所に住み続けたい」及び「市内のどこかに住み続けたい」と回答した人は計70人となり、約71%となった。



問3-2 東大和市に住んでいて良かった点（3つ選択）（n=435）

	件数	%
買い物など日常生活の利便性	222	51.0
立川方面への利便性	135	31.0
自然環境	128	29.4
父母世帯と同居・近居	119	27.4
子育て環境	108	24.8
住宅価格・家賃	89	20.5
良好な住環境	83	19.1
通勤・通学の利便性	82	18.9
自然災害が少ない	64	14.7
生まれ育ったところ	60	13.8
治安	38	8.7
新宿方面への利便性	23	5.3
小・中学校などの教育環境	13	3.0
地域コミュニティ	13	3.0
市内公共交通の利便性	8	1.8
地域、路線などのイメージ	8	1.8
テレワークの職・住バランス	0	0.0
その他	11	2.5
無回答	5	1.1
合 計	1,209	

東大和市に住んでいて良かった点は、【問2-3 東大和市に居住地を決めた理由】において4番目に高い割合であった「買い物などの日常の利便性」が1番目、7番目に高い割合だった「立川方面への利便性」は2番目、10番目に高い割合だった「自然環境」が3番目となった。

問3-3 東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点（3つまで選択）（n=435）

	件数	%
都心へのアクセス	138	31.7
市内公共交通	84	19.3
特になし	84	19.3
就業の場が少ない	66	15.2
親や子供世帯の居住地が遠い	65	14.9
通勤・通学	62	14.3
生まれ育ったところではない	52	12.0
子育て環境	52	12.0
治安	48	11.0
小・中学校などの教育環境	45	10.3
買い物など日常生活	45	10.3
地域、路線などのイメージがよくない	31	7.1
地域コミュニティが活発でない	26	6.0
住宅価格・家賃	22	5.1
住環境	7	1.6
自然環境	7	1.6
その他	37	8.5
無回答	10	2.3
合計	881	

東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点は、「都心へのアクセス」が約32%で最も多く、次に「市内公共交通」及び「特になし」が多い。

【参考・クロス集計】【市外に転居したい】【なるべくなら市外転居したい】×【住みにくい点】

【問3-1 定住意向について】において「できれば市外に移りたい」及び「今すぐにでも市外に移りたい」と回答した世帯のみに絞り、「東大和市に住んでいて住みにくいと感じた点について」の集計したところ、結果は次のとおりとなった。（住みにくいと感じた点の上位10項目のみ抽出）（3つまで選択）（n=74）

	件数	%
都心へのアクセス	28	19.0
市内公共交通	16	10.9
生まれ育ったところではない	15	10.2
親や子供世帯の居住地が遠い	14	9.5
買い物など日常生活	14	9.5
治安	14	9.5
小・中学校などの教育環境	14	9.5
子育て環境	12	8.2
通勤・通学	10	6.8
その他	10	6.8
合計	147	100.0

市外へ転居したいと考えている人が住みにくいと感じた点は、「都心へのアクセス」が最も多く、次に「市内公共交通」が多い。

問4 出産し、より良い子育てをするために、市に期待すること（3つ選択）（n=435）

	件数	%
公園の整備	240	55.2
小中学校の設備環境の充実	167	38.4
保育園の待機児童の解消	153	35.2
小中学校の教育指導の充実	126	29.0
学童保育所の待機児童の解消	88	20.2
地域の見守り体制の充実	78	17.9
病児・病後児保育施設の充実	65	14.9
児童館の充実	65	14.9
子育ての相談体制の充実	60	13.8
母子の健康診査の充実	47	10.8
子育て世代のコミュニティ活動への支援	34	7.8
その他	33	7.6
無回答	11	2.5
合 計	1167	

出産し、より良い子育てをするために東大和市へ期待することとしては「公園の整備」が約55%と最も多く、多くの子育て世帯が公園の整備を期待していることが分かる。

また、「小中学校の設備環境の充実」約38%、「小中学校の教育指導の充実」が約29%となっていることから、学校教育に対する期待が大きいことが分かる。

また、「保育園の待機児童の解消」が約35%、「学童保育所の待機児童の解消」が約20%となっていることから、子どもを預けることができる環境が求められていることが分かる。

問5 東大和市の魅力（自由回答）

自然が豊かで多い(29)	買い物がしやすい(14)	人が優しい(5)
公園など緑が多い(5)	多摩湖がある(4)	静か(4)
電車やバスの利便性がよい(4)		自然が身近にある(3)
整備されている広い道が多い(3)		適度に田舎(2)
子育て環境に力を入れている(2)		子育て支援の手厚さ(2)
保育園に入りやすい(2)	公民館での保育付き講座(2)	
立川周辺へのアクセスの良さ(2)		子供と遊べるところが多い
身近に歴史を学べる施設がある(旧日立航空機株式会社変電所)		
小学校の先生にいい人が多い		狭山湖
病院がたくさんある	病児保育の園までのお迎えサービス	
お店や施設が移動しやすい範囲にある		野火止用水
保健センターが親身になってくれる	地域の人とのつながり	
子供の登下校時に地域の方が見守ってくれる	休日保育がある	
子育てをしていると通りすがりの人が声をかけてくれる	お祭りやイベントの多さ	
5歳児健診がある	治安がいい	狭山緑地
お祭りがアットホーム	コロナ対策での育休延長	周りの人があたたかい
お店の駐車場が大きく無料が多い		開けた公園がある
産業まつり	かるがも一時保育	ランドセル来館
空堀川の横の道	毎日森を散歩できる環境	繁華街のような喧騒がない
空が広い	景観がきれい	地元の農産物が豊富
のびしろがある	駐車場付きの飲食店がある	
利便性と自然環境のバランスがいい		商業施設が近い
身近に自然や歴史的建造物があることで興味を持ちやすい		
児童館、家庭支援センターが身近にあって遊びやすい		
窮屈に感じない	鳥が多くまるで高原にいるかのよう	
カブトムシやクワガタが採れるほど自然が豊か	のどかなところ	
地域の人が穏やか	自然にたくさん触れられる	生活がしやすい

## 4 資料編：アンケート用紙

転入前市区町村 (旧住所)	市・区 町・村	新住所の地域	東大和市	
------------------	------------	--------	------	--

↑(芋窪、桜が丘など)

次の質問について、該当する番号を回答欄に記入してください。(所要時間は、5分程度です。)

I あなたの世帯構成等について

【回答欄】

問1-1 転入後の世帯構成についておたずねします。	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 自分(夫婦)と子の二世帯 4. 自分(夫婦)と親の二世帯 5. 親と自分(夫婦)と子の三世帯 6. その他( )	
問1-2 世帯主(転入後の世帯)の年齢についておたずねします。	1. 19歳以下 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳 5. 35~39歳 6. 40~44歳 7. 45~49歳 8. 50~59歳 9. 60~69歳 10. 70歳以上	

II 転入の理由について

【回答欄】

問2 転入のきっかけとなった理由を下記の中から2つまで選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入してください。	第1理由
1. 職業上の理由 (就職、転職、転勤、家業継承、退職、テレワーク勤務の促進)	
2. 住宅の購入等 (住宅購入、借家の借換など)	
3. 生活の利便性 (通勤、通学の利便性、買い物の利便性)	
4. 親・子との同居・近居 (親との同居、親と近居、子と同居、子と近居)	
5. 子育て環境上の理由 (子の入学(入園)・進学、子の通学)	
6. 結婚等 (結婚、離婚、同居)	
7. その他( )	
	第2理由

III 居住地選択の候補地について

【回答欄】

問3-1 東大和市のご住所を決めるにあたり、東大和市以外にどこか他の地域も探しましたか。	1. 探した 2. 探さない	
問3-2 問3-1で「1. 探した」と答えた方におたずねします。該当する番号を3つまで記入してください。		1
1. 立川市 2. 東村山市 3. 小平市 4. 武蔵村山市 5. 昭島市 6. 国分寺市 7. 国立市 8. 西東京市 9. 八王子市 10. 所沢市 11. その他( )		2
		3

IV 東大和市を選んだ理由について

【回答欄】

問4 東大和市に居住地を決めた理由をおたずねします。次の項目の中から3つ選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	1
1. 通勤・通学の利便性 2. 買い物など日常生活の利便性 3. 住宅価格・家賃 4. 新宿方面への利便性 5. 立川方面への利便性 6. 市内公共交通の利便性 7. 良好な住環境 8. 子育て環境 9. 小・中学校などの教育環境 10. 治安 11. 自然環境 12. 自然災害が少ない 13. テレワークの職・住バランス 14. 親や子供世帯と同居・近居 15. 職場があるところ 16. 生まれ育ったところ 17. 以前住んでいたところ 18. 地域、路線などのイメージ 19. 配偶者等の住居があったから 20. その他( )	2
	3

V 転入以前の情報

【回答欄】

問5-1 転入を決めるにあたり、東大和市の行政サービスや施策を調べましたか。	1. 調べた 2. 調べていない	
問5-2 あなたは、転入以前から東大和市のことを知っていましたか。	1. 知っていた 2. 知らなかった	
問5-3 問5-2で「1. 知っていた」と答えた方におたずねします。どのようなことを通じて東大和市のことを知りましたか。2つ記入してください。		1
1. 市内イベント・散策 2. 鉄道や道路で通った 3. 以前、東大和市に住んでいた 4. 以前近隣に住んでいた 5. 親族・友人を通じて知った 6. 市のホームページで見た 7. 市のホームページ以外のインターネットで見た 8. テレビ・新聞等で見聞きした 9. 職場があるところ 10. 職場が近隣にある 11. その他( )		2
問5-4 問5-2で「1. 知っていた」と答えた方におたずねします。東大和市について、どんなことをご存知でしたか。知っていたことについて3つまで記入してください。		1
1. 多摩湖 2. 狭山緑地 3. 東大和市駅 4. プラネタリウム(メガスターⅡB) 5. 多摩湖自転車歩行者道 6. うまかんべえ～祭 7. うまべえ 8. 旧日立航空機(株)変電所 9. 産業まつり 10. 多摩湖駅伝大会 11. 吉岡堅二画伯 12. 都立東大和南公園 13. 市のブランドメッセージ「東京 ゆったり日和 東大和」 14. 全部知っている 15. その他( )		2
		3

ご協力ありがとうございました。

転出先市区町村	市・区 町・村	旧住所の地域	東大和市	
---------	------------	--------	------	--

↑(芋窪、桜が丘など)

次の質問について、該当する番号を回答欄に記入してください。(所要時間は、5分程度です。)

I あなたの世帯構成等について

【回答欄】

問1-1 転出後の世帯構成についておたずねします。	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 自分(夫婦)と子の二世帯 4. 自分(夫婦)と親の二世帯 5. 親と自分(夫婦)と子の三世帯 6. その他( )	
問1-2 世帯主(転出後の世帯)の年齢についておたずねします。	1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～59歳 9. 60～69歳 10. 70歳以上	

II 転出の理由について

【回答欄】

問2 転出のきっかけとなった理由を下記の中から2つまで選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入してください。	第1理由
1. 職業上の理由 (就職、転職、転勤、家業継承、退職、テレワーク勤務の促進) 2. 住宅の購入等 (住宅購入、借家の借換など) 3. 生活の利便性 (通勤、通学の利便性、買い物の利便性) 4. 親・子との同居・近居 (親との同居、親と近居、子と同居、子と近居) 5. 子育て環境上の理由 (子の入学(入園)・進学、子の通学) 6. 結婚等 (結婚、離婚、同居) 7. その他( )	第2理由

III 転出先を選んだ理由について

【回答欄】

問3 居住地として転出先の市区町村を選んだ理由をおたずねします。次の項目の中から3つ選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	1
1. 通勤・通学の利便性 2. 買い物など日常生活の利便性 3. 住宅価格・家賃 4. 都心へのアクセス 5. 市内公共交通の利便性 6. 良好な住環境 7. 子育て環境 8. 小・中学校などの教育環境 9. 治安 10. 自然環境 11. 自然災害が少ない 12. 親や子供世帯と同居・近居 13. 以前住んでいたところ 14. 職場があるところ 15. 地域、路線などのイメージ 16. 配偶者等の住居があったから 17. その他( )	2
	3

IV 東大和市への帰還意向等について

【回答欄】

問4-1 機会があれば東大和市に戻りたいと思いますか。該当する番号を回答欄に記入してください。	
1. ぜひ戻りたい 2. どちらかといえば戻りたい 3. どちらかといえば戻りたくない 4. 戻りたくない	
問4-2 東大和市に住んでいて「良かった点」は何ですか。次の項目から3つ選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	1
1. 通勤・通学の利便性 2. 買い物など日常生活の利便性 3. 住宅価格・家賃 4. 新宿方面への利便性 5. 立川方面への利便性 6. 市内公共交通の利便性 7. 良好な住環境 8. 子育て環境 9. 小・中学校などの教育環境 10. 治安 11. 自然環境 12. 自然災害が少ない 13. テレワークの職・住バランス 14. 親や子供世帯と同居・近居 15. 地域コミュニティ 16. 生まれ育ったところ 17. 地域、路線などのイメージ 18. その他( )	2
	3
問4-3 東大和市に住んでいて「住みにくい」と感じた点は何ですか。次の項目から3つまで選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	1
1. 通勤・通学 2. 買い物など日常生活 3. 住宅価格・家賃 4. 都心へのアクセス 5. 市内公共交通 6. 住環境 7. 子育て環境 8. 小・中学校などの教育環境 9. 治安 10. 自然環境 11. 就業の場が少ない 12. 親や子供世帯の居住地が遠い 13. 地域コミュニティが活発でない 14. 生まれ育ったところではない 15. 地域、路線などのイメージがよくない 16. その他( ) 17. 特になし	2
	3

V 東大和市の魅力について

問5 あなたが、東大和市の中で自慢できる、あるいは良いと思うことやものを記入してください。
( ) ( ) ( ) ( ) ( )

ご協力ありがとうございました。

# 東大和市に対するアンケート調査(市内在住の子育て世帯の方向け)



東大和市では、市民の皆様が「今後も住み続けたい」と思えるような魅力あるまちづくりを目指して、アンケート調査を実施しています。  
お答えいただいた内容は、今後のまちづくりの基礎資料として活用させていただきます。  
つきましては、お忙しい中恐縮ですが、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。



電子アンケートQRコード

※同内容の電子アンケートもご用意しております。スマートフォン等で右記のQRコードを読み取り、ご回答ください。  
※電子アンケートにご回答いただいた場合、この紙のアンケートにご回答いただく必要はございません。  
※兄弟がいる等の理由から、複数のアンケートが送付された場合、回答いただくアンケートは、1枚分で結構です。  
(お手数ですが、使用しなかったアンケートはご自身で破棄していただきますようお願いいたします。)  
※このアンケートにかかる所要時間は、約5分です。  
※記入済みのアンケートは、お子様の乳幼児健診の際に、保健センターにてご提出ください。

次の質問について、該当する番号を回答欄に記入してください。

## I あなたご自身及び世帯構成等について

【回答欄】

問1-1 あなたの年齢(令和3年4月1日現在)についておたずねします。	1. 19歳以下 4. 30～34歳 7. 45～49歳 10. 70歳以上	2. 20～24歳 5. 35～39歳 8. 50～59歳	3. 25～29歳 6. 40～44歳 9. 60～69歳	
問1-2 世帯構成についておたずねします。	1. 自分(夫婦)と子の二世帯 2. 親と自分(夫婦)と子の三世帯 3. その他( )			
問1-3 あなたは、将来何人の子どもを産み育てたいと考えていますか。	1. 1人 4. 4人	2. 2人 5. 5人以上	3. 3人	
問1-4 お子様の年代と人数についておたずねします。該当する番号を記入し、( )内にその人数を記入してください。	1. 就学前	2. 小学生1～3年生	3. 小学生4～6年生	( ) ( )
	4. 中学生	5. 高校生以上		( ) ( )

## II 東大和市の居住について

【回答欄】

問2-1 あなたは現在どの地区に住んでいますか。	1. 芋窪 5. 高木 9. 立野 13. 仲原	2. 蔵敷 6. 狭山 10. 桜が丘 14. 向原	3. 奈良橋 7. 清水 11. 中央 15. 清原	4. 湖畔 8. 上北台 12. 南街 16. 新堀 17. 多摩湖	
問2-2 あなたが東大和市にお住まいになったのはいつごろですか。	1. あなた自身が出生した時から居住 3. 平成19(2007)年～23(2011)年 5. 平成27(2015)年～29(2017)年 7. 令和3(2021)年以降				2. 平成18(2006)年以前 4. 平成24(2012)年～26(2014)年 6. 平成30(2018)年～令和2(2020)年
問2-3 東大和市に居住地を決めた理由をおたずねします。 次の項目の中から3つ選び、該当する番号を回答欄に記入してください。					1
1. 通勤・通学の利便性 4. 新宿方面への利便性 7. 良好な住環境 10. 治安 13. テレワークの職・住バランス 16. 生まれ育ったところ 19. 地域、路線などのイメージ	2. 買い物など日常生活の利便性 5. 立川方面への利便性 8. 子育て環境 11. 自然環境 14. 父母世帯と同居・近居 17. 以前住んでいたところ 20. その他( )	3. 住宅価格・家賃 6. 市内公共交通の利便性 9. 小・中学校などの教育環境 12. 自然災害が少ない 15. 職場があるところ 18. 配偶者等の住居があったから			2
					3

裏面もあります



問2-4 住宅の所有関係についておたずねします。該当する番号を回答欄に記入してください。	
1. 持家(一戸建) 2. 持家(分譲マンション) 3. 公営住宅(公団・公社・都営住宅等) 4. 民間の借家(一戸建) 5. 民間の借家(アパート・賃貸マンション等) 6. 給与住宅(社宅・官舎・寮等) 7. その他( )	

## Ⅲ 定住意向について

問3-1 あなたは、これからも東大和市に住み続けたいと思いますか。	
1. 今の場所に住み続けたい 2. 市内のどこかに住み続けたい 3. できれば市外に移りたい 4. 今すぐにでも市外に移りたい	
問3-2 東大和市に住んでいて「良かった点」は何ですか。 次の項目から3つ選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	1
1. 通勤・通学の利便性 2. 買い物など日常生活の利便性 3. 住宅価格・家賃 4. 新宿方面への利便性 5. 立川方面への利便性 6. 市内公共交通の利便性 7. 良好な住環境 8. 子育て環境 9. 小・中学校などの教育環境 10. 治安 11. 自然環境 12. 自然災害が少ない 13. テレワークの職・住バランス 14. 父母世帯と同居・近居 15. 地域コミュニティ 16. 生まれ育ったところ 17. 地域、路線などのイメージ 18. その他( )	2
	3
問3-3 東大和市に住んでいて「住みにくい」と感じた点は何ですか。 次の項目から3つまで選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	1
1. 通勤・通学 2. 買い物など日常生活 3. 住宅価格・家賃 4. 都心へのアクセス 5. 市内公共交通 6. 住環境 7. 子育て環境 8. 小・中学校などの教育環境 9. 治安 10. 自然環境 11. 就業の場が少ない 12. 父母世帯の居住地が遠い 13. 地域コミュニティが活発でない 14. 生まれ育ったところではないから 15. 地域、路線などのイメージがよくない 16. その他( ) 17. 特になし	2
	3

## Ⅳ 子育てしやすさについて

問4 あなたが、これから出産するため、また、より良い子育てをするために、市に期待することは何ですか。 次の項目から3つ選び、該当する番号を回答欄に記入してください。	
1. 子育ての相談体制の充実 2. 母子の健康診査の充実 3. 保育園の待機児童の解消 4. 学童保育所の待機児童の解消 5. 小中学校の設備環境の充実 6. 小中学校の教育指導の充実 7. 地域の見守り体制の充実 8. 公園の整備 9. 病児・病後児保育施設の充実 10. 児童館の充実 11. 子育て世代のコミュニティ活動への支援 12. その他( )	1
	2
	3

## Ⅴ 東大和市の魅力について

問5 あなたが、東大和市の中で自慢できる、あるいは良いと思うことやものをいくつでも記入してください。	

ご協力ありがとうございました。

転入者、転出者及び子育て世帯アンケート  
(令和3年度実施)

令和4年9月

---

発行 東大和市

編集 東大和市 企画財政部 企画政策課

〒207-8585 東大和市中心3丁目930番地

[TEL:042-563-2111](tel:042-563-2111) (代表)

<https://www.city.higashiyamato.lg.jp>